



都の西北

2019年(令和元年)10月1日

早稲田大学校友会 昭島稲門会会報 第9号



定期総会のご案内

会長 梅田 正宏

11月16日(土)、例年どおり昭島市民交流センターにて第35回定期総会を開催致します。

唐突に蓮の花と釈迦如来像の写真を載せて恐縮ですが、私が昭島市内で最も気に入っている場所の一つ、臨済宗建長寺派の寺院である廣福寺の本堂前のスナップです。今年は7月が寒かったために8月に蓮の花が見頃になりました。大岩の上に鎮座したお釈迦様と大型の水鉢で栽培されている蓮の花とのコラボが幽玄の世界に導いてくれます。この蓮は2000年以上前の遺跡から発掘された古代のハスの実から発芽・開花した“大賀ハス”を先代住職が移植した貴重なものです。

先代住職は我が昭島稲門会の産みの親である初代会長の白川宗雪和尚様です。豪放磊落な方でしたが、この繊細な造作は見事です。残念ながら会長在任は2年足らずで病に倒れ今年33年忌を迎えました。

昭島稲門会は、白川初代会長の設定した理念である「政治団体や特定組織などには関係なく、早稲田に学んだ校友の格式ばらない親しい交流のつどいの場」としての活動に徹し、一貫して今日に至っております。

今年の総会の内容については以下のとおりです。なお、出欠を同封の葉書でご連絡ください。

(1) 参加者は、昭島稲門会の会員および隣接する近隣の6つの稲門会から各1~2名と早稲田大学からのご来賓で例年30名前後です。

(2) 総会は三部構成で、午後2時から5時までの予定です。

① 第一部

活動報告および収支決算報告、次年度の活動計画および収支予算の審議・承認等を行います。議事終了後大学より近況報告があります。

② 第二部

今年度は、昭島の魅力を発見・発信するために活動し、ビデオを自主制作している『昭島映像制作研究会』の会員である福田幹事よりDVDの上映・解説を行います。

今回は作品群の中から、『啓明学園“北泉寮の歴史と魅力”』について紹介致します。

玄人はだしの構成・解説・映像をお楽しみ下さい。

③ 第三部

1時間半~2時間の懇親会です。和気あいあいとした楽しい雰囲気での懇親や情報交換の場となります。



校歌斉唱にてお開きとなります。

会員の皆様には、是非とも昭島稲門会の家族的な雰囲気を味わって頂きたいと思っておりますので、定期総会に顔を出して頂けたら幸いです。また、市内在住の校友で未だ昭島稲門会に加入されていない方々が大勢おります。お知り合いがございましたらお声を掛けて頂けますよう重ねてお願い申し上げます。

会員だより

—— 私の近況 —— My recent news

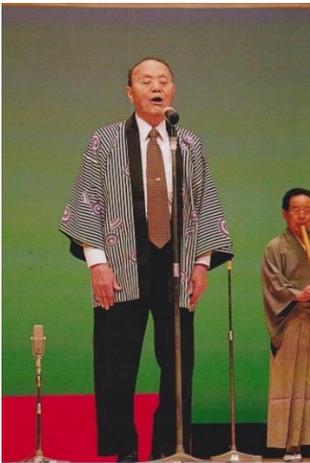
果樹の生産で最優秀賞を 杉崎源三郎さん (昭和49年 教育学部卒)



大神町で梨とりんごを生産しています。昭島は昔から多摩川梨が有名。当時70軒くらいの梨農家があったが現在は7軒。主に庭先販売や地方発送、JAにも出荷。昭島果実組合で梨ゼリーを造り、市内学校給食でも大変好評(写真:右から2人目)。りんごで東京都農業会議会長賞を受賞しました。先日2泊3日で北海道へ。いままで頑張ったということで妻から古稀のプレゼント。北海道新幹線グランクラス利用、宿泊ホテルは世界のVIPも認めたサミット会場、Sランクホテル:ザ・ウィンザーホテル洞爺。霽に

つつまれたホテルから見下ろす幻想的な洞爺湖は私が生きてきた中で最高でした。贅沢やっちゃいました。早稲田入学時は東大紛争真っ只中。バリケード封鎖、休講ばかりで麻雀、酒、アルバイト・・・かろうじて早稲田免状頂戴す。卒業してコンピュータの会社に。通産省の依頼でLSI集積回路の設計に携わる。その成果は90年代の日本のコンピュータが世界一の座についたことがあります。そこに私の一汗が含まれているのが唯一の自慢かな。子供時代、学生時代、会社時代、梨生産時代、高齢者時代突入へと、その時々でいろいろあったけど、全て頂点まで至らず6合目までだったけど、まあまあ現在健康なのでうまく人生やってきたのかな。

カラオケの新曲に挑戦中 岡 三徳さん (昭和37年 法学部卒)



5~6年前にある友人が地区の老人会の会長に私を紹介し、会長といくつかやりとりのあった後はいきいきクラブ・カラオケ部に入会しました。

毎月第2, 第3, 第4土曜日の午後0時半から4時半まで、居酒屋のカラオケ店で曲目のリスト(6曲ほど)を事前に提出して順番に歌います。誰も歌の批評などしません。マイペースが大切です。メンバーは10名ほど。ほぼ男女半々で70歳以上です。昭島市内に同じようなクラブが23あり、年に2回発表会があり、各クラブから代表が出演します。これは発表会でコンクールではありません。我がクラブからも代表が出演しますが順番に出ます。舞台ではドレスで着飾ったおばあちゃんが踊ったり、カンカン帽をかぶったおじいさんが喉を震わせたり大変に賑やかです。客席では応援合戦もあります。自分が努力するのは新曲を覚えることです。昔聞き覚えた歌だけでは付き合いはできません。インターネットで検索して新曲を発見したり、仲間に教わったりしています。そうすることが生きがいでもあります。

家族のパン工房を下支え 西野文昭さん (昭和44年 商学部卒)



卒業後約30年間のサラリーマン生活と在職20年間の議員生活を今年4月で無事終了させていただきました。つつがなく職務を全うできたことは皆様方のお蔭と心より感謝しております。35歳のころ初代会長の、広福寺住職で昭和中学校の恩師でもあった白川宗雪先生のお宅に、若輩ながら昭島稲門会の発起人の一人として参画させていただいたことが昨日のこのように思い返します。在職中は公務と行事が重なったりしてご無沙汰しがちな面があり申し訳なく思っているところです。

昨年の9月より「パン工房にのん」を開業しました。娘二人が是非やりたいとのこととで商売の経験は無かったのですが“清水の舞台から飛び降りる”つもりで取り組んでいます。家内も手伝っていますが私自身は朝の店前清掃くらいしかできていません。日・月・木曜が定休日。午前10時から午後5時まで(売切れ次第終了)。中神駅南口から東南に徒歩2分のソレイユ6番館1F。お近くにおいでの際はお立ち寄りいただければ幸いです。

ちょっと訪問…会員ルポ**料理、買い物もおしゃれよ!**

副幹事長 小宮山 正前(まさちか)さん [昭和50年 理工卒]

二人の子どもたちは自立し、夫人と中神駅北口の武蔵野地域のマンションに住む。

「駅まで徒歩10分程度で公園や大型スーパー、病院等も近くまあまあ住みやすいところかな」と。

大学時代の大きな思い出は?

フォークバンド活動ですね。当時はフォークソングの全盛時代。仲間4人でフォークバンドを結成し、ライブをさせてくれる喫茶店や早稲田祭に出店するなど演奏活動をしていました。自分のパートはギター。プロのバンドの楽曲のコピーが主でしたが、若干オリジナル曲も演奏していました。

卒論のテーマはコンピューターシステムの構築。3人でチームを組み分担して作業を進めましたが、教授や修士の指導を仰ぎ、参考にする設計図はあったものの、なかなか思うようにいかず、夏休みも正月休みも返上し、研究室に入れない時は、電子計測器を持っているメンバー宅で作業するなど悪戦苦闘しました。卒業後は電機メーカーに就職し、コンピューターハードウェアなどの開発技術者として従事しましたが、この経験は大いに業務に役立ちました。

趣味が多彩のようですね。

何かに特に入れ込んでいるという訳ではありませんが、読書や映画鑑賞、音楽を楽しむ、あるいは美術館や博物館めぐりも時々しますし、寄席にも行くし、ボケ防止もあり「数独」をする等、浅く色々をやっています。

読書は、最近は歴史小説、推理小説などあまり肩のこらないもの。映画は洋画が中心。テンポ良くストーリーが展開するものが好みます。音楽は家でJPOP系などを聴くほか、吹奏楽ないし管弦楽を含みコンサート等にも時々行きます。当稲門会の月1回のカラオケには、時間が許す限りは出席していますね。

地域とはどんな交流が?

自治会で日々の活動のほか、毎年夏の祭りで出店する模擬店(おでん)の手伝いをしています。30年くらいやっていますかね。それと健康マージャンサークル。「あいぼっく」で開いている初心者向け健康マージャン教室に参加したことがきっかけで、この教室のOBが中心になって作っているサークルを紹介されて参加しています。参加者は女性の比率が高く70歳代以上の方が多い

のですが、皆さんお元気です。

「料理も買い出しもする」と聞いていますが・・・

そう、家にいる時は昼食・夕食は原則当方で作ってますかね。朝食の用意は妻がしますが、前日の夕食を作る時に仕込んでおき、多少手を加えれば食べられるようにしておくんです。あくまでも家庭料理の範囲ですが、和食でも中華でも洋食でもある程度は作りますよ。

ええ、買い物にも行きますよ。妻の得意料理を主菜にする時は、当方は副菜作りをしますが、それ以外ほとんど一人で作っています。当方が料理をやっている時、妻は洗濯物を畳んだ



り、アイロンをかけたり、ベランダの花に水やりをしたり、動いていることが多いですが、時にはゆったりと新聞を読んだりしていることも。(ウワァ 幸せな奥さん!)

最後に副幹事長として思うことがありましたら。

まだ稲門会に参加して数年で、幹事団に入っても間もないため、活動に関してまだまだ知らないことや、理解できていない部分も多いと感じています。努力していきたいです。

現在、ウォーキングやストレッチ運動、屋内プールでの水泳など、体を意識して動かすようにしています。数年前に病気で手術入院し、3週間点滴だけで過ごしました。今も治療と検査を継続中ですが、入院で筋肉、体力の衰えを痛感したことがきっかけとなって運動をさぼらないようにしていますが、そもそも病気にならないことが肝要です。

今年に入り、高校時代からの友人2人が60代でありながら相次いで病気で亡くなってしまいました。皆さん、健康には十分ご注意ください。(取材：清水)

サークル活動便り

カラオケ倶楽部

最近少し元気がない、という方は好きな歌を唄えば元気になります。それほど歌の効用はすごいです。

毎月1回のカラオケ会には歌好きな人が4~8名集まります。最近の傾向として、一人の歌手のいろいろな曲を歌っている人が多いです。最近はやい新曲も出てきていますし、また青春時代の歌を知る限り歌ってみるのも楽しいかと思えます。

カラオケのワンポイント

♪女性歌手の曲は、聴きやすくても歌うと難しいことが多いです。音程あわせをすると抜群に歌いやすくなります(午前9時~10時が練習時間です)。

♪知っている曲でも、もう一度歌詞の意味をかみしめて下さい。(岩田記)

滝山城址&滝山公園お花見ハイキング

4月7日実施の今回は、思いのほか参加申し込みが少なく、また急遽のキャンセルなどもあり、3人だけのいささか寂しいハイキングとなりました。



拝島橋北詰めに集合し、国道16号から標識に従い滝山城址への分かれ道に入ると、いきなりの急登。しかし15分ほ

どの頑張りでも尾根の稜線に出れば、あとは城址までなだらかなアップダウンの繰り返し。途中、丘陵南側の谷戸では、一目千本とも言われる視界一杯の桜を満喫することができました。目的地の「中の丸跡地」で、昭島方面の眺望を楽しみ、満開の桜を眺めながらの昼食となりましたが、この広場には売店がなく期待した冷たい缶ビールにありつけなかったのは唯一の心残り。帰路は丘陵北側の高月町からバスで拝島駅へ。絶好のお花見日和のもと、滝山丘陵の満開の桜を堪能できるとは贅沢なお花見ハイキングでした。(佐藤清記)

ゴルフコンペ

春のコンペは、当初予定日は前日からの大雨でやむなく中止。いったん春のコンペは諦めかけたのですが、会員からせつかく年2回ずつ続けているのでなんとかやろうよ、ということで日程を調整し6月26日に決定。しかし急な日程でスケジュールや体調不良等もあり、参加5名と少し寂しいコンペとなりました。

当日は絶好のゴルフ日和で快適にプレーができました。5人乗りのカートと一緒に回ることができ、最終スタートで後ろから追われ



ることもなく和気あいあいとプレーできました。結果は優勝は山中、バスクロは佐藤さんでした。(山中記)

シネマの会

第19回 居眠り磐音

NHK時代劇シリーズ“陽炎の辻 居眠り磐音”の映画化である。剣の達人である磐音が江戸参勤を終え、慎之介、琴平とともに豊後関前藩に戻る。慎之介の妻・舞は琴平の妹、磐音の許嫁は舞の妹である。様々な経緯があり磐音は浪人となり、奈緒は花魁に。磐音は奈緒を花魁道中でみて、「奈緒…」と叫ぶ。奈緒は磐音の江戸土産だった実南天の描かれた匂い袋を心の支えとしながら通りすぎる。磐音は寂しくも許嫁が強く生きる姿を見つめている。映画終了後の恒例の食事会で一杯飲みながら、欲のない磐音の爽やかな生き方に浸っていた。(田島記)

第20回 パドマーワト 女神の誕生

映画大国インドが巨額制作費で作った2時間半の恋愛・戦争スペクタクル。十三世紀末の北インドの小国の伝説の美王妃パドマーワティの夫シンと、大国の霸王アラウッディーンとの壮絶な戦いをCGと大ロケセットを駆使して描いた大スペクタクル映画。

インド映画定番の美女の群舞には圧倒される。シネマの会としては近頃希な掘り出し物映画だ。(福田記)

第21回 天気の子

意味の良く分からない題名だなという思いで劇場に入った。東京に家出を決行する少年帆高が連絡船に乗り込み、怪しげな東京人須賀に飯を奢るところあたりからぐいぐいと話に引き込まれていった。日本は異常気象で三年間連日降雨が続く中で、陽菜という少女に出会い、彼女の晴れを呼ぶ不思議な能力に気づき、「晴れ女」ビジネスを始め、大当たり。我々が日常見慣れた、新宿歌舞伎町、渋谷駅前、浅草などリアルな描写にも引き込まれ新海監督とはすごい人だと思った。宮崎駿の「もののけ姫」を観て以来久しぶりの長編アニメの傑作であった。(菅野記)

昭島探訪

アキシマクジラが迎える昭島の知の拠点

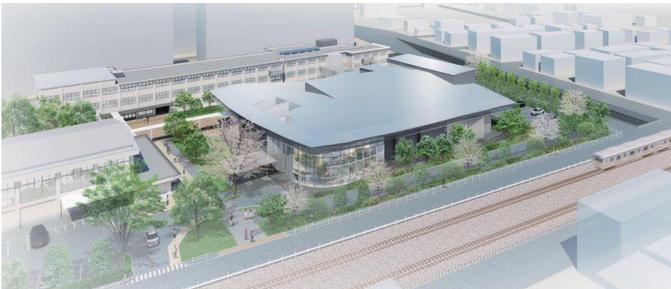
アキシマエンス

新図書館を中核とする教育福祉総合センターが来年3月にオープン



平成28年に廃校となった「つつじが丘南小学校」の跡地に、来年3月、アキシマクジラの学名から「アキシマエンス」と命名された「昭島市教育福祉総合センター」がオープンします。

建物自体は凡そ2年の工期を経て、今年の12月には完成の予定だそうです。青梅線の車窓からもその姿を少しばかり眺めることができるようになりましたが、ここにご紹介したイラストをご覧くださいと、より直感的にイメージしていただけるのではないのでしょうか。



市によると、この施設の建設によって、市内の教育関連施設や児童福祉関連施設が集約され、それぞれが相互に連携することで、教育と福祉が一体となった継続的な支援が期待できるとのことです。なお、既存の校舎や体育館を活用しつつ、校庭に新たな施設を建設して複合的な利活用を図るのは、廃校利用としては全国でも初めての試みだそうです。

既存校舎は全面リニューアルされ、教育センターや男女共同参画センター、また子育てひろばや子ども家庭支援センター、児童発達支援などに活用されます。体育館は電動式の階段状可動客席を備えた、300席ほどの使い勝手の良い多目的ホールに生まれ変わります。



校庭に建つ新築棟ですが、正式名称は「国際交流教養文化棟」と言うそうです。建物正面入り口のエントラ

ンスホールはくじらホールと呼ばれ、空中に浮かぶ原寸大のアキシマクジラの化石レプリカが訪れる人を迎えてくれます。全長13.5メートルの迫力を見る人を圧倒するに違いありません。



蔵書40万冊、閲覧席約300席の新たな図書館がメイン施設となりますが、1階は一般図書、児童図書を中心とした開架閲覧スペースの他、郷土資料室や100席ほどのシアター、また市民ギャラリーやカフェラウンジなども併設されます。

2階は一般図書の開架閲覧だけでなく、一般学習室やグループ学習室、講習・研修室、録音室、レファレンススペースなどと共に、個室で集中して調べものなどができるように個人ブースも設けられています。



まさに新たな昭島の知の拠点と呼ばれるにふさわしい施設と言えます。

人生100年時代とも言われます。市のちょうど中心に位置するこのアキシマエンス。皆さんも散歩がてら時々はこの施設を訪れ、コーヒーでも飲みながら、一日を知の散策と洒落てみては如何でしょうか。

現役・OB 交流会を開催

8月24日猛暑のなか、お馴染みの中華料理店「翠鳳楼」で「現役・OB 交流会」が開催されました。今年は総勢17名と、ほぼ例年と同様の参加者数となりましたが、現役学生としては、文化構想学部2年生の大西由花さんが紅一点参加してくれました。また若手会員としては三浦圭亮さんが新春顔合わせに続いての参加となりました。

梅田会長もホッとされたのか、「いつも現役の学生さんの参加があるかどうか冷や冷やしていたが、今回は現役の女子学生の参加を得



て誠にうれしい限り。また三浦さんにも再び来ていただき大いに歓迎したい」と笑顔の挨拶。平均年齢70歳代の集まりに、現役女子大生が加わるとさすがに場は華やぎ、例年以上に話に花が咲いたような気がしました。

おいしい中国料理に舌鼓を打ち、ひととおりの懇談の後、参加者一人ひとりから自己紹介を兼ねて近況の報告などがありました。皆さんの老いて(?)益々盛んな向学心の一端や社会貢献への取り組み、また地域活動に勤しむ姿などが垣間見られ、さすが早稲田の方々はバイタリティ旺盛だと感心させられました。

この後引き続き、ビンゴゲームに興じましたが、大西さん、三浦さんが早々とビンゴを達成し、豪華賞品(?)



をゲットしました。交流会最後の恒例の校歌斉唱は他のお客さんに配慮して見送り、全員で記念写真を撮って解散となりました。

大西さんは今日ここに来るには少し躊躇されたようですが、お母さんに「経験だから行ってみたら」と背中を押されたとのこと。感想を聞くと、「楽しかった」と一言。殆どお世辞とは分かっていますが、ぜひまたの参加を期待してしまいます。

校友会東京三多摩支部大会が11月に

前号でもご紹介したとおり、今年の「早稲田大学校友会東京三多摩支部大会」は青梅稲門会、羽村稲門会、昭島稲門会が主管し、11月10日(日)に青梅市の青梅福祉会館で開催されます。三多摩支部大会には毎年、各稲門会からも多くの参加があります。大会では三多摩支部の今後1年間の活動方針などが審議されますが、今年は議事後に青梅稲門会大倉会長のお嬢さんで国際的ジャズバイオリニストとして著名なメグ・オークラさんの演奏会が予定されています。昭島稲門会からは役員が代表して参加します。

ラグビー早明戦を応援しよう!

毎年白熱した熱戦が繰り広げられる早明戦ですが、今年はワールドカップの興奮も冷めやらぬ12月1日に秩父宮ラグビー競技場で開催されます。当稲門会ではこの伝統の一戦に毎年1



0名近くの会員で応援に駆けつけています。昨年は対抗戦グループでは優勝を遂げましたが、続く全国大学選手権大会では惜しくも優勝を逃してしまいました。今年是对抗戦グループでここまで3戦全勝です。今年こそぜひこのまま対抗戦で優勝し、11年ぶりの全国制覇へと繋げて貰いたいものです。

今年のワールドカップには校友の山中亮平選手(2011年スポーツ科学部卒)も日本代表に選ばれています。観戦の後はいつもの翠鳳楼で、ラグビー談議に花を咲かせ懇親を深めます。

加藤雅樹君ドラフト指名なるか?

前号で紹介した、昭島市出身で早稲田大学野球部主将の加藤雅樹君。いよいよこの秋のドラフト会議が注目されています。



現在は六大学秋季リーグが始まったばかりですが、今年の春季リーグでは本塁打3本、打率3割9分6厘と絶好調。スカウトからも熱い視線が注がれ、ドラフ

トの注目選手としてクローズアップされています。現在、広島やヤクルト、阪神がリストアップするのではないかとの情報もあります。昭島市出身のプロ野球選手として、その活躍を大いに期待したいですね。

クリケット早稲田は男子が優勝

9月22日に昭島市陸上競技場で行われた今年の「チャンピオンズ・ウィケット(クリケット全国学生選手権大会)」。予選を辛うじて勝ち上がった早稲田大学男子チームは、早々と決勝進出を決めていた中央大学との決勝戦に臨みました。後攻の早稲田は主将の川島君(写



真前列中央)が総得点の半分近くを稼ぎ出す大活躍を見せ、先攻中央大学の逃げ切りを許しませんでした。昨年に続いての優勝で、連覇

を成し遂げました。昨年準優勝の女子は残念ながら予選リーグで下位に沈み、決勝進出はなりません。なお来年1月、南アフリカでクリケットのワールドカップが開催されます。この大会には、東アジア太平洋地区予選で優勝した19歳以下(U-19)日本代表が、全世代を通じて初めて出場することになりました。この予選リーグの日本代表チームには昭島市出身の都立小金井北高校の市来君と清泉中学校の森田君の二人が選ばれ、優勝に大きく貢献しました。2人は現在、本戦でのメンバー入りを目指し、日々練習に励んでいます。頑張ってワールドカップ本番でも大いに活躍して欲しいですね。

今年も稲門祭へ藍染ハンカチを協賛

今年の稲門祭は10月20日(日)に開催されますが、昭島稲門会では今年も福引抽選会への協賛品として、



昭島の清涼な地下水を利用し、天然の藍だけで染め上げたハンカチ20枚を提供しました。ハンカチには藍染めと昭島の関わり、天然藍染の

素晴らしさなどを記したメモも添えました。

また、稲門祭に合わせて販売される記念品の購入に際しては、今年も多くの会員からご協力を戴き割り当て

額を大きく超えることができました。この記念品の売り上げを含む稲門祭の収益は「校友会奨学金」として、在学生への経済的支援に充てられます。購入2,000円につき1枚の福引券が付いていますが、後は福引で豪華賞品が当たることを祈るばかり。

また、三多摩支部では今年も多摩の地酒やお菓子などの銘品を販売するサロン・ド・三多摩ブースを大隈庭園に設けます。昭島稲門会からも役員が応援に加わります。当稲門会からも多くのご来場をお待ちしております。

早稲田文化芸術週間2019が開催されます

10月7日から21日までの2週間にわたり、早稲田文化芸術週間が早稲田キャンパスと戸山キャンパスで開催されます。大学と地域が一体となり、講演会やコンサート、ワークショップなど約40のイベントが展開されますが、校友会最大の取り組みである稲門祭もこの一環として開催されるものです。

「観る・学ぶ・楽しむ・知る・食べる」をテーマに様々なイベントが企画されています。「観る」では、体育各部全44部が勢ぞろいして早稲田スポーツ・アニバーサリーステージが、また會津八一記念博物館ではミュージアムコンサートなども開催されます。「学ぶ」では



各種講演会やシンポジウムが、「楽しむ」では、稲門祭はもとよりですが、漫画WOBさんでお馴染みの福田幹事が創設メンバーである漫画研究会による似顔絵描きのプレゼントなどもあります。「知る」では、早稲田大学歴史館やワセダギャラリー、125記念室などで様々な特別展示が行われます。「食べる」では大学キャンパスをはじめ、地域の協賛も得て、ラーメン激戦区である高田馬場・早稲田地区の有名ラーメン店を巡るスタンプラリーなども行われ、食欲の秋を満たしてくれそうです。皆さんどうぞお出かけを。

お知らせ・予告

☆ハイキングの会



10月29日(火)に、近場で最近人気の出ている狭山丘陵の「トトロの森」の散策も含めた、森と湖ハイキングを計画しました。総歩行距離は6~7km程度、総歩行時間も2時間程度と予想され、アップダウンも少ないので足に自信が無い方も参加頂けると思います。(梅田:TEL080-8157-0492)



☆ゴルフコンペ

秋のコンペは10月25日(金)に花咲CC 9時36分インコーススタートで開催します。ゴルフ好きの方、一度やってみたいなと思っている方、奮ってご参加下さい。奥様もご一緒にどうぞ。お問い合わせは担当の山中まで。TEL090-9953-7404
メール yamanaka-akihiro@nifty.com



☆シネマの会



地元モリタウンのMOVIX 昭島で、いろいろなジャンルの映画を観る会です。2カ月に一回程度、たいてい日曜日の午後に開催しています。ご案内はメールでしています。映画の後、お茶などを飲みながら感想会もやっています。(平田:TEL080-2568-6284)

☆早稲田カラオケ倶楽部

毎月最終日曜日の午前9時~12時に、昭島駅北口のカラオケ店「まねきねこ」の38号室に集まって歌っています。とにかく気楽に「まねきねこ」の2階38号室に直接来て下さい。



マンガの作者は早大漫画研究会OB

編集後記

2ページの会員だよりを見ると、改めて会員には多芸多彩な方が多いと感心させられます。次はあなたにご登場願うことになるかもしれません。その際にはどうぞよろしくお願いいたします。なお会報は今後10月1日の年1回の発行となります。次号は来年10月1日の発行となりますが、来年11月には昭島稲門会が設立35周年を迎えるため、特別編集号として発行する予定です。どうぞご期待下さい。(佐藤清)

発行：早稲田大学校友会
東京三多摩支部昭島稲門会
会長：梅田 正宏 電話 541-6008
〒196-0031 福島町2-17-1
umeda-masahiro@luck.ocn.ne.jp
幹事長：山中 皓博 電話 544-1933
〒196-0024 宮沢町2-14-39
yamanaka-akihiro@nifty.com